

〔大分類〕 危機管理・消防
 〔中分類〕 危機管理体制の強化

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	42. 防災用品備蓄事業 (危機管理室 地域防災課)			
事業計画概要	安全で安心なまちを実現し、自助・共助を基本とした地域防災力の向上を図るため、震災に備え、災害時に負傷した人の応急処置を行う救急医療セットなどの防災用品の整備を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 医療救護所医療品の入れ替え	24年度 サバイバルフーズの入れ替え	25年度 医療救護所医療品の入れ替え
	実績	救護所用毛布、ブルーシート、ホワイトボード、コードリール、コーン、コーンバー他	長期保存非常食 サバイバルフーズ (クラッカー2号缶) 11,124缶	長期保存非常食 サバイバルフーズ (クラッカー2号缶) 3,501缶購入予定
事業費(千円)	計画	2,254	6,389	2,254
	実績	1,567	10,220	5,000
数値目標等	計画	市全体のサバイバルフーズの備蓄量(年度末)		
		192,150食	219,805食	219,805食
	実績	187,980食	216,000食	198,022食
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	16,787千円/10,897千円=154.0%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	198,022食/219,805食×100=90点		
	サバイバルフーズについては、今後賞味期限切れとなる食糧が毎年出てくるため、必要数を確保するためには定期的な購入が必要。 25年度の医療救護所医療品の購入を計画していたが、25年度についてはサバイバルフーズの購入を行うこととした。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 危機管理・消防
 〔中分類〕 危機管理体制の強化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	110. 防災計画策定事業（危機管理室 危機管理課）			
事業計画概要	東日本大震災を教訓として、市民の生命、身体及び財産を守るため、現状の地域防災計画の被害想定に基づいた「防災計画支援システム」を最新のデータに更新し、本市の現状に即した被害想定を行い、東日本大震災の体験を検証した上で、地域防災計画の見直しを行います。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画		・防災計画支援システムの更新 ・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し
	実績		・防災計画支援システムの更新 ・地域防災計画の見直し	・防災計画支援システムの更新 ・業務継続計画（BCP）の策定 ・図上訓練の実施
事業費（千円）	計画		12,000	0
	実績		11,930	11,000
数値目標等	計画		・防災計画支援システムの更新 ・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し
	実績		・防災計画支援システムの更新 ・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額		22,930千円／12,000千円＝191.1%	
	（数値目標等比較） 最終年度 計画⇒実績		地域防災計画の見直し⇒地域防災計画の見直し 100点	
	平成24年度において、東日本大震災を教訓として、検証を行い、地域防災計画の修正を行なった。平成25年度には、更に地域防災計画の実行性を高めるため、防災計画支援システムの更新、業務継続計画の策定及び図上訓練を実施する。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.4% 57.0% 39.4% 1.2%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 危機管理・消防
 〔中分類〕 危機管理体制の強化

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	111. 放射能対策事業 (危機管理室 危機管理課)			
事業計画概要	東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の低減を図るため、「市川市の放射線量低減の取り組みに係る基本方針」のもと、「市川市放射線量低減実施計画」を見直し、さらなる低減対策を行います。また、放射線に対する知識の普及のため、市民講座などを開催します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績		<ul style="list-style-type: none"> 放射線量低減対策の実施 市民講座などの開催 実施計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 放射線量低減対策の実施 市民講座などの開催 実施計画の推進
事業費(千円)	計画		4,306	4,306
	実績		2,839	1,888
数値目標等	計画	追加被ばく線量(年間)		
	実績		1ミリシーベルト以下	1ミリシーベルト以下を達成
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	4,727千円/8,612千円=54.9%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	追加被ばく線量年間 1ミリシーベルト以下⇒追加被ばく線量年間 1ミリシーベルト以下を達成 100点		
	<p>「市川市放射線量低減実施計画」に基づき、低減対策の実施等により、平成24年8月末時点で、市の施設、約1,000箇所全てで低減対策を行う目安値である0.23マイクロシーベルト/時未満となっている。また、小・中学校・特別支援学校、幼稚園、保育園などの子ども関連施設では、全ての施設でより厳しい0.19マイクロシーベルト/時未満となっている。</p> <p>これらの対策により、「追加被ばく線量を1ミリシーベルト/年以下とすること」という基本方針の目標が達成されたため、同基本方針を改定し、「追加被ばく線量1ミリシーベルト/年以下を維持していく。」ことを新たな目標としている。</p> <p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 危機管理・消防

〔中分類〕 消防力の強化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	43. 指令業務共同化及び無線デジタル化事業（消防局 指令課）			
事業計画概要	消防・救急・救助体制の充実のため、平成25年度から松戸市消防局において、6市消防本部による指令業務の共同運用を開始します。 また、消防救急無線についても、共同指令センター開始に併せ、アナログ方式からデジタル方式に移行します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		共同指令センター ・法定協議会設置 ・運営詳細の検討 消防救急デジタル無線 ・基地局整備 ・機器調整試験	共同指令センター ・センター接続改修 ・単独整備機器の設置 ・勤務職員研修 消防救急デジタル無線 ・移動局等整備 ・運用習熟訓練	共同指令センター ・運用開始 消防救急デジタル無線 ・運用開始
	実績	共同指令センター ・法定協議会設置 消防救急デジタル無線 ・基地局整備	共同指令センター ・センター接続改修 消防救急デジタル無線 ・移動局等整備	共同指令センター ・運用開始 消防救急デジタル無線 ・運用開始
		事業費(千円)	計画	108,859
	実績	108,628	238,801	112,160
数値目標等	計画	共同指令センターの整備		
		法定協議会設置	センター接続改修	運用開始
	実績	法定協議会設置	センター接続改修	運用開始
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	459,589千円/550,499千円=83.5%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	運用開始⇒運用開始 100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 治水
〔中分類〕 水害のないまち

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	44. 都市基盤河川改修事業（水と緑の部 河川・下水道整備課）			
事業計画概要	河川改修を推進し、浸水被害の解消を図るため、一級河川大柏川の浜道橋から鎌ヶ谷市境までの1,621mの区間について、真間川流域整備計画に基づき河道の拡幅整備を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・管理用通路整備工事 ・実施設計	24年度 ・用地購入 ・迂回道路新設工事	25年度 ・護岸工事 ・橋梁架換（南山下橋） 橋梁下部工 橋梁上部工 取付道路整備 ・迂回道路撤去工事
	実績	・管理用通路整備工事 ・護岸工事 ・実施設計	・用地購入 ・管理用通路整備工事	・管理用通路整備工事 ・用地整地工事 ・護岸詳細設計 ・仮設道路実施設計
事業費（千円）	計画	32,400	217,475	603,751
	実績	40,301	146,209	9,600
数値目標等	計画	都市基盤河川改修進捗率（年度末）		
		工事 86.4% 用地 96.4%	工事 86.4% 用地 100.0%	工事 100.0% 用地 100.0%
	実績	工事 92.3% 用地 97.1%	工事 92.3% 用地 100.0%	工事 100.0% 用地 100.0%
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		196,110千円／853,626千円＝23.0%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		$\frac{\text{工事 100ポイント} + \text{用地 100ポイント}}{\text{工事 100ポイント} + \text{用地 100ポイント}} \times 100 = 100 \text{点}$	
	河川拡幅用地 26,633 m ² （進捗率 100%）の取得を完了させたほか、真間川流域整備計画に基づく都市基盤河川改修事業による護岸整備に伴う管理用通路の整備を進め、護岸工事についても1,496m（進捗率 92.3%）を完了させている。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>4.1% 71.7% 22.6% 6%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 治水
〔中分類〕 水害のないまち

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	45. 排水路整備事業（水と緑の部 河川・下水道整備課）			
事業計画概要	雨水排除、雨水排水施設を整備し、浸水常襲地域の被害の軽減を図るため、真間川水系などの河川改修等の進捗にあわせ、市川市雨水排水基本計画に位置付けられた幹線排水路の整備や老朽化の著しい排水路の改修整備を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・水路改良工事 (国分1、大野西、北国分の3排水区) ・実施設計 (北方の1排水区)	24年度 ・水路改良工事 (大野西、北方、北国分の3排水区) ・実施設計 (行徳、大野南の2排水区)	25年度 ・水路改良工事 (行徳、大野南の2排水区) ・実施設計 (曾谷・高塚の1排水区)
	実績	・水路改良工事 (国分1、大野西、北国分の3排水区) ・実施設計 (北方の1排水区)	・水路改良工事 (大野西の1排水区) ・実施設計 (行徳の1排水区)	・水路改良工事 (行徳の1排水区) ・実施設計 (曾谷・高塚の1排水区)
事業費(千円)	計画	154,000	64,500	58,500
	実績	202,645	80,383	71,810
数値目標等	計画	排水路整備進捗率(年度末)		
	実績	58.1%	58.2%	58.3%
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	354,828千円/277,000千円=128.1%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	58.3ポイント/58.3ポイント×100=100点		
	市川市雨水排水基本計画などに位置付けられた整備計画に基づき、幹線排水路全体で229,177mの計画うち、平成24年度末までに133,269m(進捗率58.2%)の排水路整備を完了させた。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 治水
〔中分類〕 水害のないまち

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	46. 排水施設整備事業（水と緑の部 河川・下水道整備課）			
事業計画概要	雨水排除、雨水排水施設を整備し、浸水常襲地域の被害の軽減を図るため、自然排水できない低地地域にポンプ場・排水機場を整備・改築します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・家屋等調査 (八幡、東菅野地区)	24年度 ・実施設計 (鬼高排水機場)	25年度 ・建設工事(2ヵ年) (鬼高排水機場)
	実績	・排水施設設置工事 (東菅野)	・家屋等損傷補償 (東菅野地区)	・排水施設改修工事 (大野排水区)
事業費(千円)	計画	1,125	40,000	553,000
	実績	49,180	1,431	14,750
数値目標等	計画	排水機場整備済率(年度末) ※整備が必要な排水機場 22 機場		
		32%	32%	36%
	実績	32%	32%	36%
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	65,361千円/594,125千円=11.0%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	36ポイント/36ポイント×100=100点		
	<p>市川市公共下水道計画(雨水)及び雨水排水基本計画に基づき、全体計画では29箇所のポンプ場・排水機場を整備することとなっており、平成24年度末までに排水機場で整備済が7箇所、暫定整備が14箇所、未整備が8箇所(整備中および計画中2箇所含む)となっている。</p> <p>なお、本事業は市の単独事業で実施しているため、近年の財政状況から事業費の財源の確保が困難となっており、大きな事業の進捗はなく事業計画と実績との乖離が生じている。</p> <p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 防犯
〔中分類〕 防犯まちづくりの推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	47. 防犯対策事業（市民部 防犯課）			
事業計画概要	住民による自主的な防犯活動の推進を図るため、自治会等、自主防犯活動を実施する団体への防犯物品の支援やオレンジ色の帽子を被って行う「ボランティアパトロール」の普及を推進します。また、夏と冬の年2回「地域出動式」を実施して「街の安全パトロール」を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・自主防犯物品の支援 ・ボランティアパトロールの推進 ・街の安全パトロールの実施	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・151団体に防犯活動用物品の支援を実施 ・広報紙及び各種イベントにおいてボランティアパトロール員の募集を実施 ・地域出動式を7月と12月の年2回実施	・157団体に防犯活動用物品の支援を実施 ・広報紙及び各種イベントにおいてボランティアパトロール員の募集を実施 ・地域出動式を7月と12月の年2回実施	・163団体に自主防犯活動への支援を実施 ・広報紙及び各種イベントにおいてボランティアパトロール員の募集を実施 ・地域出動式を11月に実施
事業費（千円）	計画	10,025	10,025	10,025
	実績	9,705	9,484	8,163
数値目標等	計画	ボランティアパトロール登録者数（年間・延べ）		
	実績	3,000人	3,250人	3,500人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	27,352千円／30,075千円＝90.9%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	8,619人／9,750人×100＝88点		
<p>ボランティアパトロール員の募集については、各種キャンペーンの際や広報紙で募集をしている。</p> <p>24年度は174人の新規加入があったが、高齢なパトロール員も多く、脱退者も189名いたことから、ボランティアパトロール員が増加しなかった。</p> <p>〔□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった〕</p>				
市民意向調査結果	<p>4.6% 53.7% 39.3% 2.4%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 交通安全
 〔中分類〕 道路の安全性の向上

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	48. まごころ道路整備事業（道路交通部 道路建設課）			
事業計画概要	狭あい道路において、道路の安全性を向上させるため、部分的に自動車がすれ違えるスペース（まごころ道路）を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		「選定基準により優先順位を付けた市道」における退避スペースの設置	「選定基準により優先順位を付けた市道」における退避スペースの設置	「選定基準により優先順位を付けた市道」における退避スペースの設置
	実績	4箇所	4箇所	5箇所
事業費（千円）	計画	40,690	64,000	64,000
	実績	26,117	22,416	35,000
数値目標等	計画	設置箇所数（年間）		
		5箇所	5箇所	5箇所
	実績	4箇所	4箇所	5箇所
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額		83,533千円／168,690千円＝49.5%	
	（数値目標等比較） 3ヵ年 実績／計画		13箇所／15箇所×100＝87点	
	まごころ道路整備事業は、用地取得・車道工事の事業であり工事施工完成箇所を実績としているが、用地交渉も同時に進めており、用地取得の時期により工事施工時期が左右されるためやや不十分と思われる。 [□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.6% 51.3% 42.9% 3.2%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 交通安全
 〔中分類〕 道路の安全性の向上

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	49. 狭あい道路対策事業 (街づくり部 建築指導課、道路交通部 道路安全課)			
事業計画概要	道路の改良・拡幅による安全性の向上を図るため、幅4メートル未満の道路(建築基準法第42条2項及び43条第1項但し書き道路)において、建築行為等に伴い道路を拡幅する場合、道路として市に帰属が進むよう、拡幅に係る測量及び分筆、並びに道路整備等の費用の一部を助成します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 助成内容 ・測量分筆登記費用の一部 ・道路舗装、側溝敷設等整備費用の一部	24年度 同左	25年度 同左
	実績	助成内容 ・測量分筆登記費用の一部	同左	市の道路整備及び測量分筆 助成内容 ・測量分筆登記費用の一部
事業費(千円)	計画	12,000	18,000	18,000
	実績	400	2,655	16,200
数値目標等	計画	道路拡幅箇所(年間)		
		20箇所	30箇所	30箇所
	実績	2箇所	5箇所	32箇所
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	19,255千円/48,000千円=40.1%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	39箇所/80箇所×100=49点		
	平成23年・24年度の制度は市民に一部費用負担が生じるものであり、市民の理解が得られず実績が伸びなかったことから「不十分だった」と評価した。平成25年度は原則市が道路整備や測量分筆を行う制度とする。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>期待以上 1.7% 期待通り 49.7% 足りない 46.4% やり過ぎ 2.2%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 交通安全
〔中分類〕 道路の安全性の向上

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	50. 橋りょう補修事業 (道路交通部 道路安全課)		
事業計画概要		橋りょうの維持管理のため、市内の橋りょう 133 橋の定期的な点検を実施し、その上で計画的な修繕・耐震化を行い、延命化を図ります。		
年度ごとの事業内容	計画	23 年度	24 年度	25 年度
		<修繕> ・長寿命化点検 115 橋 ・橋りょう補修工事 <耐震化> ・J R 武蔵野線跨線橋耐震補強(第二大柏)	<修繕> ・長寿命化修繕計画策定 学識者意見聴取 ・橋りょう補修工事 <耐震化> ・J R 武蔵野線跨線橋耐震補強(第二本将)	<修繕> ・長寿命化修繕計画公表 ・橋りょう補修工事 <耐震化> ・J R 武蔵野線跨線橋補強(第三牧場)
	実績	・長寿命化点検 64 橋 ・JR 武蔵野線跨線橋耐震補強(第二大柏)	・長寿命化点検 46 橋 ・JR 武蔵野線跨線橋耐震補強(第二本将)	・橋りょう修繕工事詳細設計 2 橋
事業費(千円)	計画	101,921	99,000	60,000
	実績	58,616	61,804	4,500
数値目標等	計画	耐震化完了橋数(年度末・累計)		
		15 橋	16 橋	17 橋
	実績	総数 15 橋(内 1 橋)	総数 16 橋(内 1 橋)	総数 16 橋(内 0 橋)
達成状況等	(事業費比較)	3 ヶ年 実績額/計画額		
	(数値目標等比較)	最終年度 実績/計画		
		平成 25 年に耐震化を予定していた橋りょうが公共に利用されてなく、撤去も含めて検討することとしたため、目標、達成に至らなかった。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]		
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り □足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 交通安全
 〔中分類〕 適切な自動車交通の誘導

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	51. 交通安全施設整備事業（道路交通部 道路安全課）			
事業計画概要	密集市街地の生活道路の安全対策のため、道路拡幅が困難な生活道路において、ドライバーに歩行空間を示すカラー舗装等を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・路肩カラー舗装 3箇所 ・標識改修 2基	24年度 路肩カラー舗装 4箇所	25年度 路肩カラー舗装 5箇所
	実績	・路肩カラー舗装 4箇所	・路肩カラー舗装 7箇所	・路肩カラー舗装 2箇所
事業費（千円）	計画	12,140	11,760	12,000
	実績	10,261	31,070	5,670
数値目標等	計画	カラー舗装延長（年間）		
		540m	1,820m	2,000m
	実績	1,224.4m	2,298.2m	1,452.0m
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		47,001千円／35,900千円＝130.9%	
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画		延4,974.6m／延4,360m×100＝114点	
	平成25年度に予定していた分の一部を平成24年度に前倒しで実施した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額＋繰越額

〔大分類〕 交通安全
〔中分類〕 交通安全に関する意識啓発

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	52. 自転車安全利用啓発事業（道路交通部 交通計画課）			
事業計画概要	平成23年4月の「市川市自転車の安全利用に関する条例」が制定されたことを受けて、自転車の安全利用を推進するため、交通安全教室の開催、自転車利用者による危険な行為の防止と自転車の安全利用に関する普及啓発を図ります。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・交通安全教室 ・交通安全指導 ・街頭指導 ・安全利用に関する周知	24年度 ・交通安全教室 ・擬似体験を通しての交通安全指導 ・交通安全指導 ・街頭指導 ・安全利用に関する周知	25年度 同左
	実績	交通安全教室 138回 17,377人 自転車安全利用講習会 24回 3,786人	交通安全教室 140回 17,579人 自転車安全利用講習会 31回 5,542人	小・中・高校講習 60校 スタート・ストレート 2校 自治会等 30回 啓発活動 年間100回
事業費(千円)	計画	10,800	15,504	15,504
	実績	5,477	1,772	1,704
数値目標等	計画	交通安全教室等の受講者数(年間)		
		17,000人	18,000人	18,000人
	実績	21,163人	23,121人	18,000人
達成状況等	(事業費比較)	3ヵ年 実績額/計画額 8,953千円/41,808千円=21.4%		
	(数値目標等比較)	3ヵ年 実績/計画 62,284人/53,000人×100=118点		
		条例の目的である市民の安全を確保するため、交通安全教室や自転車安全利用講習会など計画通りに実施されており、市川市の自転車に関する事故件数も減少傾向であるが、今後も本事業を継続し自転車の安全利用に関する普及啓発を図っていく。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]		
市民意向調査結果	<p>2.4% 48.7% 45.4% 3.5%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 ユニバーサルデザイン
 〔中分類〕 まちのユニバーサルデザイン化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	53. 人にやさしい道づくり重点地区整備事業（道路交通部 道路建設課）			
事業計画概要	歩行空間の連続的なユニバーサルデザイン化の推進のため、主要駅周辺の重点地区（概ね半径500m以内）内及び主要な路線の歩道の段差解消・平坦性の確保等バリアフリー化を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 人にやさしい道づくり 工事 延長 170m	24年度 人にやさしい道づくり 工事 延長 860m	25年度 人にやさしい道づくり 工事 延長 840m
	実績	工事箇所 7箇所 施工延長 1,015m	工事箇所 5箇所 施工延長 566m	工事箇所 4箇所 施工延長 460m
事業費（千円）	計画	20,000	106,000	106,000
	実績	84,360	53,124	55,000
数値目標等	計画	歩道整備延長（年間）		
	実績	170m	860m	840m
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	192,484千円／232,000千円＝83.0%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	2,041m／1,870m×100＝109点		
	主要駅周辺の重点地区はほぼ整備済になった。今後、重点地区以外の整備を進めていく必要があると思われる。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>期待以上 3.4% 期待通り 55.2% 足りない 37.0% やり過ぎ 4.3%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 ユニバーサルデザイン
 〔中分類〕 公益施設のユニバーサルデザイン化

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	54. 公民館営繕事業 (生涯学習部 社会教育課)			
事業計画概要	公共施設のユニバーサルデザイン化のため、スロープや階段の昇り降りによる負担が軽減されるよう、公民館にエレベーターを設置します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・大野公民館エレベーター設置設計委託 ・西部公民館エレベーター設置設計委託	24年度 ・大野公民館エレベーター設置工事 ・西部公民館エレベーター設置工事	25年度
	実績	・大野公民館エレベーター設置設計委託 ・西部公民館エレベーター設置設計委託	・大野公民館エレベーター設置工事(継続) ・西部公民館エレベーター設置工事	・大野公民館エレベーター設置工事 ※H24~H25 継続事業
事業費(千円)	計画	9,000	140,000	
	実績	8,921	77,208	112,155
数値目標等	計画	公民館のエレベーター設置施設数(年度末・累計)		
		9施設	11施設	
	実績	9施設	10施設	11施設
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	198,284千円/149,000千円=133.1%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	11施設/11施設×100=100点		
大野公民館エレベーター設置工事について、隣接する大柏出張所の業務に支障とならないよう工事を実施したことから継続事業となり、完了年度が計画より1年遅れることとなったが第1次実施計画期間内に設置台数11施設を達成する。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 道路・交通

〔中分類〕 環境負荷を低減し都市機能を向上させる道路交通

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	55. 都市計画道路3・4・18号整備事業 (道路交通部 都市計画道路課)		
事業計画概要	市内の道路ネットワークの形成及び交通渋滞の緩和を図るとともに、周辺地域の市街地形成や防災機能の向上等、健康で安全な都市づくりのため、本市の南北を縦断する重要な幹線道路として位置づけられている都市計画道路3・4・18号浦安鎌ヶ谷線を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・京成本線直下横断部築造工事 ・道路築造工事(真間川合流部～本北方橋) ・(仮) B1・B2 橋取付道路工事 ・(仮) B1・B2 橋高欄設置工 ・3・6・31号道路築造工事 ・用地取得等	24年度 ・京成本線直下横断部築造工事 ・道路築造工事(真間川合流部～本北方橋) ・道路築造工事(右岸：真間川合流部～木株橋) ・京成横断斜路部築造工事 ・用地取得等	25年度 ・京成本線直下横断部築造工事 ・道路築造工事(右岸：真間川合流部～木株橋) ・京成横断斜路部築造工事 ・京成横断斜路部(ポンプ室) 築造工事 ・用地取得等
	実績	・京成本線直下横断部築造工事 ・道路築造工事1-1工区 ・道路築造工事1-2工区 ・B1・B2 橋取付道路工事 ・B1・B2 橋高欄設置工等 ・用地取得等	・京成本線直下横断部築造工事 ・道路築造工事1-1工区 ・道路築造工事1-2工区 ・道路築造工事2-1工区 ・用地取得等	・京成本線直下横断部築造工事(ポンプ室含む) ・道路築造工事2-1工区 ・道路築造工事3-1工区 ・道路築造工事5-1工区 ・遮音壁設置工事等 ・用地取得等
事業費(千円)	計画	1,305,237	2,593,993	2,576,245
	実績	1,136,475	1,363,534	1,578,136
数値目標等	計画	都市計画道路3・4・18号整備進捗率(年度末)		
		工事 47% 用地 92%	工事 63% 用地 94%	工事 75% 用地 100%
	実績	工事 37% 用地 99%	工事 42% 用地 99% (事業費進捗率 75.4%)	工事 45% 用地 99%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	4,078,145千円/6,475,475千円=63.0%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	$\frac{\text{工事 45ポイント} + \text{用地 99ポイント}}{\text{工事 75ポイント} + \text{用地 100ポイント}} \times 100 = 82 \text{点}$		

	収用裁決されたが、明渡しが実施されていない土地の存在。 [□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

- 基本目標1
- 基本目標2
- 基本目標3
- 基本目標4
- 基本目標5



〔大分類〕 道路・交通

〔中分類〕 鉄道断面、渡河部における交通混雑の解消

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	56. 京成本線立体化事業 (街づくり部 街づくり推進課)			
事業計画概要	京成本線立体化等を推進するため、特に直面する課題である踏切遮断による交通渋滞改善及び安全性の向上による沿線のまちづくりを検討します。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度 ・関係機関との協議 ・市民への情報提供 ・変則5差路(国府台～市川真間)の周辺地区について、まちづくりからアプローチした場合の検討案の策定	24 年度 ・関係機関との協議 ・市民への情報提供 ・京成立体化について前年度までの委託結果等を踏まえ実態に即した方向性の検討	25 年度 ・関係機関との協議 ・市民への情報提供
	実績	・現況課題の整理 ・立体化の整備検討 ・事業効果の検討 ・本課題における課題整理以上の検討案を策定	・方向性の検討	・方向性の検討
事業費(千円)	計画	2,993	0	0
	実績	2,888	8	0
数値目標等	計画	検討案の策定	方向性の検討	市民への情報提供
	実績	検討案の策定	方向性の検討	方向性の検討
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	2,896千円/2,993千円=96.8%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	市民への情報提供⇒方向性の検討 70点		
	立体化の整備検討事項を市民へ概ね情報提供できたが、立体化推進については、H27年度の外環道路供用開始後の状況を見極めるものとしたことにより、「やや不十分だった」と評価した。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.5% 49.0% 44.7% 3.8%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額

〔大分類〕 道路・交通
 〔中分類〕 快適な歩行者自転車空間づくり

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	57. 電線類地中化事業（道路交通部 道路建設課）			
事業計画概要	電柱のない景観に配慮した歩行空間を形成し、地震等災害時の都市防災機能の向上を図るため、電線類地中化の整備を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・実施設計委託 ・管理台帳作成委託	24年度 菅野： 管路部、特殊部設置	25年度 菅野： 連系管・引込管設置
	実績	・実施設計委託（市道0124号） ・連系管・引込管設置（市道0124号）		・電線共同溝整備工事 ・電線共同溝電力・通信連系管及び引込管整備
事業費（千円）	計画	7,000	50,000	20,000
	実績	27,118		42,850
数値目標等	計画	菅野地区進捗率（年度末）		
		63.6%	89.6%	100%
	実績	63.6%	63.6%	97.7%
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		69,968千円／77,000千円＝90.9%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		97.7ポイント／100ポイント×100＝98点	
	菅野の地区において、平成24年度着工した電線共同溝整備工事を平成25年度に事業を繰越し、また、平成25年度に施工予定をしていた電線共同溝電力・通信連系管及び引込管整備委託料を国の補助事業として平成24年度補正で予算配当されたが発注及び契約が見込めないことから同じく平成25年度に事業繰越しを行っている。また、平成26年度に管理台帳の作成を予定している。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.6% 48.9% 46.5% 2.0%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度は決算額、平成25年度は当初予算額＋繰越額

〔大分類〕 道路・交通
 〔中分類〕 快適な歩行者自転車空間づくり

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	58. 駐輪場整備事業（道路交通部 自転車対策課）			
事業計画概要	快適な歩行者空間を確保し、放置自転車対策を推進するため、駐輪場を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・大野第2駐輪場の増設 ・八幡第8使用料徴収の機械化	24年度 ・市川地下、市川第4、八幡地下のラックの更新及び新設 ・行徳第1の大規模改修 ・南行徳第5立体化整備に係る調査委託	25年度 ・本八幡A地区駐輪場の通路工事負担金 ・南行徳第5立体化整備の実設計画委託
	実績	・大野第2駐輪場の増設 ・八幡第8使用料徴収の機械化 ・妙典第1・第2駐輪場の市営化		
事業費(千円)	計画	180,212	35,000	62,000
	実績	177,521		
数値目標等	計画	長期的利用が可能な駐輪台数(年度末)		
	実績	30,000台	30,500台	31,000台
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	177,521千円/277,212千円=64.0%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	32,500台/31,000台×100=105点		
	大野第2駐輪場の増設および妙典第1・第2駐輪場の市営化等を実施したことに伴い、長期的利用が可能となる駐輪台数を増加させることができたことから、「十分達成した」と評価した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度は決算額

〔大分類〕 道路・交通
〔中分類〕 公共交通の充実

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	59. コミュニティバス運行事業 (道路交通部 交通計画課)			
事業計画概要	公共交通の利用促進のため、地域住民・運行事業者・市の三者で構成する「実行委員会」により市北東部及び南部の2地域で運営されるコミュニティバスについて、運行計画の見直し等による経費の削減と増収策を検討しながら運行を継続します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	コミュニティバス運行負担金の支払い 《参考》 運行系統 ・北東部ルート ・南部ルート 運行本数 ・北東部29便 ・南部52便 運行距離 ・北東部 (往復ルート) 12.9km (循環ルート) 16.0km ・南部 14.2km		
	実績	利用者数 502,598人/年間 ・北東部 123,038人 ・南部 379,560人	利用者数 526,559人/年間 ・北東部 126,114人 ・南部 400,445人	同左
事業費(千円)	計画	68,240	70,000	70,000
	実績	68,376	67,454	67,647
数値目標等	計画	採算率(運行収入/ランニングコスト)(年間・平均)		
	実績	49.0%	49.0%	49.2%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	203,477千円/208,240千円=97.7%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	$\frac{48.3\text{ポイント}+49.7\text{ポイント}+49.2\text{ポイント}}{49.0\text{ポイント}+49.0\text{ポイント}+49.2\text{ポイント}} \times 100 = 100\text{点}$		
	本事業は市内の交通不便地域の解消を目的としており、現状では概ね計画通りに推移している。今後は運行収入を増大するための運賃見直し等を検討中であり、事業費の縮減に努めていく。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>4.4% 60.8% 28.5% 6.3%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 道路・交通

〔中分類〕 道路の管理

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	60. 道路台帳デジタル化整備事業（道路交通部 道路管理課）			
事業計画概要	道路境界の確認と道路管理の効率化を図るため、道路台帳平面図及び調書のデジタル化を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 道路台帳平面図のデジタル化（41面）	24年度 道路台帳平面図のデジタル化（120面）	25年度 道路台帳平面図のデジタル化（120面）
	実績	旧行徳地区市街地（41面）	中部地区市街地（140面）	北西部（107面）
事業費（千円）	計画	8,000	22,000	22,000
	実績	7,455	10,086	7,450
数値目標等	計画	デジタル化の割合（年度末）		
		8%	31%	55%
達成状況等	実績	8%	35%	56%
	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額 $24,991 \text{ 千円} / 52,000 \text{ 千円} = 48.1\%$		（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画 $56 \text{ ポイント} / 55 \text{ ポイント} \times 100 = 102 \text{ 点}$	
道路台帳デジタル化整備事業として、外環道路完成に合わせて平成27年度までに道路台帳平面図（510面）を完成させるため計画している。平成24年度においては当初120面予定していたが140面をデジタル化し、残り222面については平成27年度までに完成する予定である。 【■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった】				
市民意向調査結果	<p>期待以上 1.7% 期待通り 71.1% 足りない 22.3% やり過ぎ 5.0%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 下水道
 〔中分類〕 水環境の良好な保全と整備

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	61. 下水道事業特別会計（水と緑の部 河川・下水道計画課、 河川・下水道管理課、河川・下水道整備課）			
事業計画概要	水環境の良好な保全と整備のため、一般会計から下水道事業特別会計へ資金を支出し、下水道事業を推進します。 下水道特別会計では、下水道処理区域の拡大を図るため、流域関連処理区並びに西浦処理区の整備を進めます。 また、市街地における浸水被害の軽減を図り、水害のないまちを目指すため、高谷・田尻排水区及び市川南排水区について、国の外環道路事業と整合を図り、雨水の幹線管渠及びポンプ場の整備を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 24年度 25年度 （特別会計での主な事業） ・公共下水道整備事業（汚水）の実施 ・公共下水道整備事業（雨水）の実施 ・合流式下水道改善事業の実施 ・下水道施設長寿命化対策事業の実施		
	実績	・下水道普及率（汚水）67.6%、雨水整備率34.2%、合流改善率11.0%、長寿命化は基礎調査終了です。	・下水道普及率（汚水）69.8%、雨水整備率34.5%、合流改善率11.0%、長寿命化は基本計画策定終了です。	・下水道普及率（汚水）70.5%、雨水整備率34.5%、合流改善率100%
事業費（千円）	計画	2,027,000 （特別会計への繰出金額）	2,200,000 （特別会計への繰出金額）	2,500,000 （特別会計への繰出金額）
	実績	1,949,214 （特別会計への繰出金額）	2,000,000 （特別会計への繰出金額）	1,951,000 （特別会計への繰出金額）
数値目標等	計画	下水道普及率（年度末）		
	実績	67.7%	68.0%	68.2%
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額	5,900,214千円／6,727,000千円＝87.7%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	70.5ポイント／69.8ポイント×100＝101点		
	下水道普及率については、更に推進していきたいと考えています。（数値目標については（）は住民基本台帳登録人口ベース、（）外は常住人口ベースの表示です。） [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 住宅・住環境

〔中分類〕 健康で安全・安心して暮らせる住まいとまちづくりの実現

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	62. 耐震診断・改修助成事業（街づくり部 建築指導課）			
事業計画概要	地震・災害に強い住宅の供給を実現するため、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅及び分譲マンションに対する耐震診断及び耐震改修工事の啓発・指導を行うとともに、耐震診断・耐震改修に要する費用及び耐震改修工事に伴うリフォーム工事費の一部を助成します。 ○対象：昭和56年以前に着工された木造住宅及び分譲マンション ○内容：耐震改修、耐震診断			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 啓発事業 補助内訳	24年度 ・耐震相談会、講演会の開催 ・耐震診断費用への補助 ・耐震診断設計費用への補助 ・耐震改修工事費用への補助 ・耐震改修工事に伴う リフォーム費用への補助	25年度
	実績	啓発事業（相談会等） 補助内訳（耐震診断、設計、改修工事、リフォーム工事費用の補助）		
事業費（千円）	計画	15,059	33,127	53,795
	実績	10,339	10,765	11,033
数値目標等	計画	※平成27年度末までに市内の民間住宅の耐震化率が90%以上になることを目標とする （耐震化率＝耐震性を有する市内住宅戸数／市内全住宅戸数（%））		
		87.3%	87.9%	88.5%
	実績	87.6%	87.9%	88.5%
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	32,137千円／101,981千円＝31.5%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	88.5ポイント／88.5ポイント×100＝100点		
当初計画で見込んでいた耐震改修の対象となっていた住宅が建替えに移行したため、市内の住宅の耐震化率が計画どおりに推移し、「十分達成した」と評価した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 住宅・住環境

〔中分類〕 健康で安全・安心して暮らせる住まいとまちづくりの実現

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	63.住宅防災リフォーム推進事業(街づくり部 住環境整備課)		
事業計画概要	地震・災害に強い住宅の供給を実現するため、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅または東日本大震災で被災した木造住宅について防災力強化に効果のある改修工事等、木造住宅の防災リフォーム費用の1/2(上限額300千円)を助成するとともに、専門員による相談窓口(「あんしん住宅相談」)を開設します。 ○対象：昭和56年以前に着工された木造住宅、東日本大震災の被災住宅 ○内容：防災リフォーム、相談窓口			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	23年度	24年度	25年度
事業費(千円)	計画	12,346	16,923	423
	実績	11,461	14,880	9,000
数値目標等	計画	防災リフォームの相談件数(年間)		
	実績	280件	350件	350件
達成状況等	(事業費比較)	35,341千円/29,692千円=119.0%		
	(数値目標等比較)	203件/980件×100=21点		
	大震災対応として、当初、数多くの相談が受けられるように相談会の開催設定をしたため、数値目標とした相談件数は大きくなった。 相談会での相談件数実績そのものは数値目標に至らないが、相談者が助成を利用した割合は高く、ほぼ助成の予算限度額まで受付を行った。なお、集計していないが課窓口やTELでの相談・問合せも数多く受けており、今後の数値目標設定では考慮したい。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

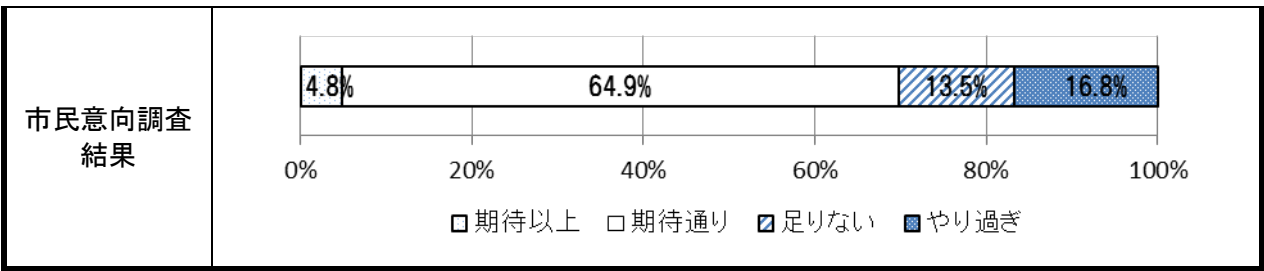
※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 住宅・住環境

〔中分類〕 良好な住まいと地域に根ざしたまちづくりの実現

■実施計画事業の概要

番号	64. 本八幡駅北口A地区市街地再開発事業 (街づくり部 街づくり推進課)			
事業計画概要	市街地再開発・土地区画整理事業と連携したまちづくりを推進するため、本八幡駅北口地区（A地区）において実施されている組合施行「本八幡A地区第1種市街地再開発事業」に対し、市は技術支援と補助金交付を行います。なお、当該事業は駅周辺にふさわしい商業・業務の拠点となる施設整備、魅力ある街並み形成を目的として、平成27年度の完成を目指します。 1期工事（住宅棟・業務棟） H25年度 完了 2期工事（商業棟） H27年度 完了(組合単独負担事業)			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		〔第1期工事〕 ・住宅棟躯体工事 地下2階～19階 ・業務棟基礎・杭工事 〔公共施設等工事〕 ・地下鉄出入口工事 ・下水道工事 ・電線共同溝工事	〔第1期工事〕 ・住宅棟躯体工事 20階～40階 ・業務棟躯体工事 地下1階～7階 〔公共施設等工事〕 ・地下鉄出入口工事 ・下水道工事 ・電線共同溝工事 ・道路工事	〔第1期工事〕 ・仕上げ工事 ・引渡し(竣工) 〔第2期工事〕 ・商業棟基礎工事
	実績	・住宅棟躯体工事 地下2階～19階 ・業務棟基礎・杭工事	・住宅棟躯体工事 20階～40階 ・業務棟躯体工事 地下1階～7階	〔第1期工事〕 ・仕上げ工事 ・引渡し(竣工) 〔第2期工事〕 ・商業棟基礎工事
事業費(千円)	計画	2,780,800	3,914,600	57,200
	実績	2,780,800	3,914,600	57,200
数値目標等	計画	都心部における優良住宅の供給(年度末)		
	実績			465戸
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額		6,752,600千円/6,752,600千円=100%	
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画		465戸/465戸×100=100点	
	中心市街地での優良住宅の供給が目標どおりできた。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			



※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 公共施設

〔中分類〕 公共施設等の有効的、効率的な活用

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	65. 公共施設耐震改修事業（管財部 設計監理課）			
事業計画概要	利用者の安全を確保するとともに、災害時の拠点機能を充実させ、公共施設等の計画的な維持管理を図るため、計画に沿った耐震改修工事を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		行徳支所（平成23～24年度継続費）（1棟） 市営住宅（平成23～24年度継続費）（1棟）		
	実績	市営住宅（平成22～23年度継続費）（2棟）	市営住宅（平成24～25年度継続費）（3棟） 消防署（1棟） 保育園（1棟） 保健センター（1棟）	市民会館（1棟） 保育園（1棟） 市営住宅(単年度)(3棟)
		計画どおり2棟の耐震改修事業を完了した。	計画どおり5棟の耐震改修事業を完了した。	建替えに向けて協議に入った1棟（市民会館）を除き、3棟の耐震改修を実施する。また、市営住宅4棟については耐震診断の結果、耐震補強不要となった。
事業費（千円）	計画	846,696	884,544	448,566
	実績	767,463	864,632	804,054
数値目標等	計画	耐震改修進捗率（棟数ベース）（年度末）		
		70.5%	81.8%	100%
	実績	70.5%	81.8%	97.7%
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		2,436,149千円／2,179,806千円＝111.8%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		97.7ポイント／100ポイント×100＝98点 ⇒耐震化が必要であった44棟のうち、市民会館については建替えの協議に入ったため、耐震化が必要な棟数を43棟に変更し、実績も100%の達成状況に変更する。 100ポイント／100ポイント×100＝100点	
	小中学校を除く公共施設の耐震化の達成については、建替えに向けて協議に入った市民会館1棟を除き、全て完了した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□ 期待以上 □ 期待通り ■ 足りない ■ やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額＋繰越額

〔大分類〕 公共施設
 〔中分類〕 公共施設等の有効的、効率的な活用

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	66. 庁舎整備事業（企画部 企画・広域行政課 庁舎整備推進担当室）			
事業計画概要	利用者の安全と防災拠点機能の確保、さらには質の高い市民サービスを提供するため、本庁舎の整備方針を決定し、基本計画を策定します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・「庁舎整備方策調査業務委託」業務を実施し、今後の整備方針を決定 ・（仮）庁舎整備基金条例制定	24年度 ・「（仮）庁舎整備基本構想」の策定 ・基金積み立て	25年度 ・「（仮）庁舎整備基本計画」の策定 ・仮設庁舎設計委託 ・地質調査委託 ・基金積み立て
	実績	・庁舎整備方策調査を実施 ・庁舎整備基本構想策定委員会条例、庁舎整備基金条例を制定	・庁舎整備基本構想の策定について答申を得る ・基金の積立を実施	・庁舎整備基本構想の策定 ・新庁舎建設基本設計、実施設計に係る業者選定及び契約締結
事業費（千円）	計画	0	510,000	1,040,000
	実績	9,204	1,125,206	825,625
数値目標等	計画	庁舎整備基本計画策定		
		整備方針の決定	基本構想の策定	基本計画の策定
	実績	整備方針の決定	「庁舎整備基本構想の策定について」の答申を得た	基本計画を含めた基本構想の策定
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		1,960,035千円／1,550,000千円＝126.5%	
	（数値目標等比較） 最終年度 計画⇒実績		基本計画の策定⇒基本計画を含めた基本構想の策定 100点	
	庁舎整備基本構想について、庁舎整備基本計画を含む内容に充実させ基本計画を策定しないこととしたため、25年度中に基本構想を策定することにより当初計画の目標達成を図るもの。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 土地利用

〔中分類〕 都市経営の観点から効率的で適切な土地利用の誘導

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	112. 市街化調整区域の土地利用 (街づくり部 都市計画課、開発指導課)			
事業計画概要	市街化調整区域における適切な土地利用を図るため、市川市都市計画マスタープランに基づき、調整区域を「将来にわたり、緑地や農地を保全するエリア」、「一定の条件により優良住宅開発を認めるエリア」、「交通網の利便性等を活かした適正な土地利用を誘導するエリア」に区分し、土地利用の方向性を検討するとともに、ルール作り及び土地利用方針を検討します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・H24.3 パブリックコメントを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の開発許可基準の見直し ・武蔵野線沿線地域の街づくりの検討 現況把握及び駅勢圏の考察 新駅設置の条件整理 実現化プロジェクトの検討 まちづくり構想の立案 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用方針の検討 ・武蔵野線沿線地域の街づくりの検討 関係機関との連絡・調整 方向性の検討 市民への情報提供 専門家からの意見聴取
事業費(千円)	計画		4,800	—
	実績		4,200	4,000
数値目標等	計画		<ul style="list-style-type: none"> ・開発許可基準の見直し ・まちづくり構想の立案 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用方針の検討 ・連絡・調整

	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・目標としていた2回の住民説明会を実施 ・複数の核となるプロジェクト構想の立案 ・実現化に向けた課題の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準を策定 ・鉄道構造の検討、需要動向調査(民間ヒアリング)の実施 ・各プロジェクト案に対する実現可能性について検証
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	8,200千円/4,800千円=170.8%	
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	開発許可基準の見直し、土地利用方針の検討 ⇒開発許可基準の見直し、土地利用方針の検討	100点 まちづくり構想の立案、連絡・調整 ⇒まちづくり構想の立案 50点 (100点+50点)÷2=75点
武蔵野線沿線地域の街づくりの検討については、街づくりの実現性判断にあたり、関係機関(鉄道事業者)との協議・調整において十分な回答が得られなかったこと、また、民間企業等の需要動向を把握しこれまでに提案されたプロジェクト案について更なる検証が必要となった。 なお、鉄道事業者との協議に必要な鉄道構造の検討や、需要動向調査(民間ヒアリング)の結果により、新駅を含めた土地利用の実現可能性がある場合は、さらに課題である土地の集約化等の対策に向け地権者等の意向を把握するとともに、関係機関との協議や財源等との調整を図り、市としての判断を行なう必要がある。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

※事業費(千円)の実績欄:平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 土地利用

〔中分類〕 地域ごとの特性を活かした持続可能な地域づくり

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	67. 塩浜地区整備事業 (街づくり部 街づくり推進課、行徳支所 臨海整備課)			
事業計画概要	三番瀬の海辺や行徳近郊緑地といった自然環境、利便性の高い広域交通機能などの地域特性を活かした行徳臨海部のまちづくりを行うため、土地利用計画等を定め、地権者組織との協働により、市川塩浜駅周辺地区の土地利用転換を促進し、新たなまちづくりを進めます。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業認可手続き ・都市計画手続(地区計画) ・都市計画道路3・4・34号用地買収 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業認可 ・都市計画決定(地区計画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事着手 ・施設建設着手
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業認可協議 ・都市計画協議(地区計画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業認可協議 ・都市計画協議(地区計画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業認可 ・都市計画協議(地区計画) ・都市計画道路3・4・34号用地買収
事業費(千円)	計画	328,963	6,867	6,867
	実績	5,079	6,319	348,823
数値目標等	計画	市川塩浜駅周辺の土地利用転換促進		
		事業認可申請	事業認可取得	造成工事着手
	実績	関係機関との協議・調整	関係機関との協議・調整	事業認可取得
達成状況等	(事業費比較)	3ヵ年 実績額/計画額 360,221千円/342,697千円=105.1%		
	(数値目標等比較)	最終年度 計画⇒実績 造成工事着手⇒事業認可取得 50点		
	平成25年度から本事業の進行管理が街づくり推進課に事務移管された。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+補正見込み額

〔大分類〕 景観
 〔中分類〕 「水と緑」・「歴史と文化」を生かした景観の形成

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	68. 中山参道地区街なみ環境整備事業（街づくり部 都市計画課）			
事業計画概要	歴史的な風情を残すまち並みづくりのため、「中山参道地区街並み環境整備事業計画（H19.3 国の承認）」に基づき、地元関係者等で構成されている「中山まちづくり協議会」との協働により、平成28年度までを目標として、中山参道沿いの街並み環境整備を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		・ 民間修景工事 ・ 協議会の運営	同左	同左
事業費（千円）	実績	23年度	24年度	25年度
		・ 民間修景工事	同左	同左
事業費（千円）	計画	2,138	6,000	6,000
	実績	2,138	990	2,065
数値目標等	計画	建物修景（中山参道地区）の進捗率（年度末）		
		40%	50%	60%
数値目標等	実績	40%	48%	64%
		（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額 $5,193 \text{ 千円} / 14,138 \text{ 千円} = 36.7\%$		
達成状況等	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画 $64 \text{ ポイント} / 60 \text{ ポイント} \times 100 = 107 \text{ 点}$			
	24年度の修景件数は、地元整備者の経済的その他の事情により2件で、50%に達成しなかった。これを踏まえ、地元関係者と協議を重ねた結果、25年度に4件の修景を実施することとなった。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

〔大分類〕 景観

〔中分類〕 まちの個性に彩られた表情豊かな景観の形成

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	69. 都市景観形成事業 (街づくり部 都市計画課)		
事業計画概要		市民や地域が主体となる景観まちづくりを推進するため、景観活動団体等への補助金の交付、アドバイザーの派遣等を行います。また、景観計画や景観条例の見直し、景観協定の締結等により地域の特性を活かした良好な景観形成を図ります。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・景観まちづくりの啓発 ・景観活動団体等の支援 ・景観審議会の開催 ・景観計画、景観条例の運用 ・景観計画、景観条例の見直し	24年度 ・景観まちづくりの啓発 ・景観活動団体等の支援 ・景観審議会の開催 ・景観計画、景観条例の運用	25年度 同左
	実績	・景観形成に関する指導・誘導 届出件数 104件 ・景観審議会 3回開催 ・景観シンポジウム開催 1回 ・景観活動団体補助金 2団体	・景観形成に関する指導・誘導 届出件数 178件 ・景観審議会 3回開催 ・景観アドバイザーの派遣 2件 ・景観活動団体補助金 3団体	・景観形成に関する指導・誘導 届出件数 180件 ・景観審議会 3回開催 ・景観協定 1件 ・景観活動団体補助金 4団体
事業費(千円)	計画	480	480	480
	実績	360	160	184
数値目標等	計画	市の景観の取り組みに満足している市民の割合 (e-モニターにより調査)		
	実績	34%	36%	38%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	704千円/1,440千円=48.9%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	44ポイント/38ポイント×100=116点		
<p>24年度はシンポジウムにおいて、外部講師によらず、職員自らが講師を務めたことで、事業費の削減となった。なお、e-モニターによる意識調査ができなかった為、他の調査結果を用いた。25年度においては、e-モニターの実施はもとより、各イベントでのアンケート調査を行い、広く意識調査を行う。</p> <p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 商工業
〔中分類〕 商工業の活性化

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	70. 商店街活性化補助事業（経済部 商工振興課）		
事業計画概要		魅力ある商店街づくりを支援し、商店街の活性化を図るため、商店会等が共同事業を実施するに補助金を交付します。 また、商店街街路灯のLED化など、商店街共同施設の設置や維持管理に要する経費に対し補助金を交付します。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		補助内訳（主なもの）		
	実績	・共同事業 イベント、電灯料（街路灯等）、駐車場 ・共同施設（建替・修繕） 街路灯、サインポール	・共同事業 イベント、電灯料（街路灯等）、駐車場 ・共同施設（建替・修繕） 街路灯、サインポール等	・共同事業 イベント、電灯料（街路灯等）、駐車場 ・共同施設（建替・修繕） 街路灯、サインポール等
事業費（千円）	計画	45,775	35,775	35,775
	実績	45,449	34,640	30,184
数値目標等	計画	商店街街路灯LED化（街路灯数）（年度末・累計）		
		154基	214基	274基
	実績	406基	494基	516基
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		110,273千円／117,325千円＝94.0%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		516基／274基×100＝188点	
	平成23年6月補正において、10,000千円を計上したことにより、市内商店街の街路灯のLED化が飛躍的に拡大し、商店会運営を圧迫していた電灯料の支払額を縮減させたこと、商店会本来の販売促進活動に向けて動き出す会も出てきたことから、事業として十分達成したと評価した。今後もLED化の推進に向けて、LED化の効果や市補助金の活用について、商店会へ積極的に周知を行っていく。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 商工業
 〔中分類〕 商工業の活性化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	71. 中小企業融資制度等預託金 (経済部 商工振興課)			
事業計画概要	経営基盤強化に向けた支援のため、市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託し、金融機関の中小企業者に対する資金融資を円滑にします。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託	24年度 同左	25年度 同左
	実績	市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託 融資利用実績 454件 2,733,090千円	市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託 融資利用実績 410件 2,538,595千円	市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託 融資利用実績 380件 2,655,000千円
事業費(千円)	計画	947,000	947,000	947,000
	実績	947,000	947,000	947,000
数値目標等	計画	融資利用実績(年間) 340件 2,137,000千円 360件 2,414,000千円 380件 2,655,000千円		
	実績	454件 2,733,090千円	410件 2,538,595千円	380件 2,655,000千円
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	2,841,000千円/2,841,000千円=100%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	7,926,685千円/7,206,000千円×100=110点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 商工業
〔中分類〕 食品流通の円滑化

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	72. 地方卸売市場事業特別会計（経済部 農政課）			
事業計画概要	地方卸売市場の適切な運営を図るため、一般会計から地方卸売市場事業特別会計へ資金を支出します。地方卸売市場事業特別会計では、地域の青果物等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図るため、市場基本方針に係る基礎資料を作成します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		(特別会計での主な事業) 基礎資料の作成	調査検討	基本方針策定
年度ごとの事業内容	実績	基礎資料の作成	民営化方針の決定	民営化プランの作成
		事業費(千円)	17,000 (特別会計への繰出金額)	15,000 (特別会計への繰出金額)
事業費(千円)	計画	17,000 (特別会計への繰出金額)	15,000 (特別会計への繰出金額)	15,000 (特別会計への繰出金額)
		15,000 (特別会計への繰出金額)	3,469 (特別会計への繰出金額)	27,000 (特別会計への繰出金額)
数値目標等	計画	市場基本方針の策定		
		基礎資料作成	調査検討	基本方針策定
	実績	基礎資料作成	民営化方針の決定	民営化プランの作成
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額		45,469千円/47,000千円=96.7%	
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績		基本方針策定⇒民営化プランの作成 100点	
	24年度においては、市場運営のあり方について、直営、指定管理者の導入等を検討したが、完全民営化に取り組むことを決定した。 25年度は民営化の実現に向けて、場内事業者、千葉県などの関係者と協議を進め「民営化プラン」を作成する。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>1.6% 69.4% 22.8% 6.2%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 都市農業
 〔中分類〕 環境に配慮した農業の推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	73. 都市農業振興支援事業（経済部 農政課）			
事業計画概要	環境保全型農業の推進のため、減農薬・減化学肥料等による持続性の高い農業生産方式と農薬の飛散防止などの事業に対し、補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ①減農薬栽培推進事業補助金 ②防鳥網等設置事業補助金 ③農薬飛散防止施設設置事業補助金 ④園芸用廃プラスチック処理事業補助金 ⑤梨剪定枝炭化事業補助金	24年度	25年度
	実績	①75ha ②227,767㎡(83件) ③168m(4件) ④9トン ⑤14トン ⑥農業用灌漑用水設備設置事業 11箇所	①75ha ②14,846㎡(3件) ③— ④7.7トン ⑤12.8トン ⑥農業用灌漑用水設備設置事業 3箇所	①95ha ②4,000㎡ ③60m(1件) ④10トン ⑤14トン ⑥8箇所 ⑦ちばの園芸産地整備支援事業3件
事業費(千円)	計画	15,229	15,229	15,229
	実績	18,748	12,686	18,701
数値目標等	計画	減農薬栽培実施面積(年間)		
	実績	95ha	95ha	95ha
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	50,135千円/45,687千円=109.7%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	延245ha/延285ha×100=86点		
23年度事業費の計画では、防鳥網等設置事業を2件見込んだが、台風被害のため83件の実績となったことによるもの。24年度事業費では、灌漑用水設備設置箇所が減ったため計画と実績の差が生じたもの。減農薬栽培実施面積の実績が計画よりも下回っており、今後は事業について積極的に農家へ周知していく。 [□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 都市農業
 〔中分類〕 活力に満ちた農業の推進

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	74. 市川市農産物ブランド化推進事業（経済部 農政課）			
事業計画概要	消費者に新鮮で美味しい市川産農産物をアピールし、農業経営等を支援するため、「市川ブランド農産物」の認定を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・市川ブランド農産物の認定基準及びロゴマークの作成への支援	24年度 ・認定ロゴマークの作成	25年度 同左
	実績	市川ブランドである農産物のロゴマーク及び市川市独自の認定基準を検討した。	ブランド化ではなく「市川のやさい」シールを活用し、地産地消を推進することとした。	
事業費（千円）	計画	0	623	623
	実績	0	294	
数値目標等	計画	市川ブランド農産物出荷品目数（年度末・累計）		
	実績		1品目	2品目
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		294千円／1,246千円＝23.6%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		0品目／2品目×100＝0点	
	当初計画では、農産物のブランド化が目的であったが実証実験やアンケート調査結果等により、消費者は必ずしもブランド化を望んでいるのではなく安全安心な市内産の野菜を求めていることがわかった。当事業としては、出荷方法・販売方法として「市川やさい」シールを活用し、地産地消を推進することとした。当事業は、24年度をもって完了となった。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□ 期待以上 □ 期待通り ■ 足りない ■ やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成24年度は決算額

〔大分類〕 都市農業

〔中分類〕 市民に親しまれる農業の推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	75. 体験農園事業（経済部 農政課）			
事業計画概要	市民農園等の充実を図るため、市内の農地を活用し、市民の農業理解の場、健康づくりの場、食育の実践の場として市民農園、体験農園等を整備・運営します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・市民農園 10箇所 (1,003区画) ・体験農園 2箇所 (400区画)	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・市民農園 10箇所 (999区画) ・体験農園 2箇所 (300区画)	・市民農園 10箇所 (999区画) ・体験農園 2箇所 (274区画)	・市民農園 10箇所 (999区画) ・体験農園 2箇所 (150区画)
事業費(千円)	計画	5,504	5,504	5,504
	実績	4,599	5,015	4,597
数値目標等	計画	市民農園區画数(年度末)		
		1,003区画	1,003区画	1,003区画
	実績	999区画	999区画	999区画
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額		
	(数値目標等比較)	最終年度 実績/計画		
		体験農園は、連作障害により区画数を減らしたもの。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]		
市民意向調査結果	<p>2.1% 64.8% 26.3% 6.8%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 水産業
 〔中分類〕 持続可能な漁業環境及び経営・流通環境の整備

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	76. 市川漁港整備事業（行徳支所 臨海整備課）		
事業計画概要		漁業環境の整備を図るため、整備後約40年経ち、老朽化が進む市川漁港について、親水空間の確保の視点も盛り込み、平成35年度の完成を目標に整備を行います。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・国との協議 ・庁内調整	24年度 ・実施設計の策定	25年度 ・特定漁港漁場整備事業交付申請 ・公有水面埋立免許出願
	実績	・国との協議 ・庁内調整	・地震・津波対策への対応のため、基本設計の修正を行った	・国との協議 ・庁内調整
事業費(千円)	計画	0	11,970	3,287
	実績	0	4,552	0
数値目標等	計画	協議・調整	実施設計の策定	事業交付申請
	実績	協議・調整	基本設計の修正	国との協議
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	4,552千円/15,257千円=29.8%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	事業交付申請 ⇒ 国との協議 0点		
	市川漁港整備事業については、平成24年度に実施設計を行い、平成25年度に事業交付申請を行う予定であった。しかし、東日本大震災の影響によって見直された地震・津波対策へ対応するため、平成24年度に基本設計の修正を実施した結果、数値目標等が達成できなかった。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>1.4% 61.9% 32.1% 4.5%</p> <p>□期待以上 □期待通り □足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成24年度は決算額

〔大分類〕 水産業

〔中分類〕 市民と共存する都市型水産業の振興

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)		77. 水産業振興負担金(うち魚食文化フォーラム分) (行徳支所 臨海整備課)		
事業計画概要		本市の水産業への市民の理解を深め、PR活動を推進するため、生産者、消費者、小売業者、行政等が市川市魚食文化フォーラム実行委員会を組織し、各種事業を実施します。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・水産物の販売 ・学校給食での食材利用 ・水産業PR活動 ・漁業体験 ・ノリ漉き体験 など	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・水産物の販売 ・学校給食での食材利用 ・水産業PR活動 ・漁業体験 ・ノリ漉き体験 など	同左	同左
事業費(千円)	計画	612	849	849
	実績	612	700	600
数値目標等	計画	フォーラム事業の参加者数(年間)		
	実績	1,400人	1,400人	1,400人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	1,912千円/2,310千円=82.8%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	4,200人/4,200人×100=100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算